

保存用

この取扱説明書は、必ず最終ユーザー様までお届けください。

本取扱説明書・保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。



タケツナ
株式会社 竹綱製作所
(2004年11月第1版)

ポータブルドライヤ PD-10

取扱説明書・保証書



ご使用前に必ずお読みください。

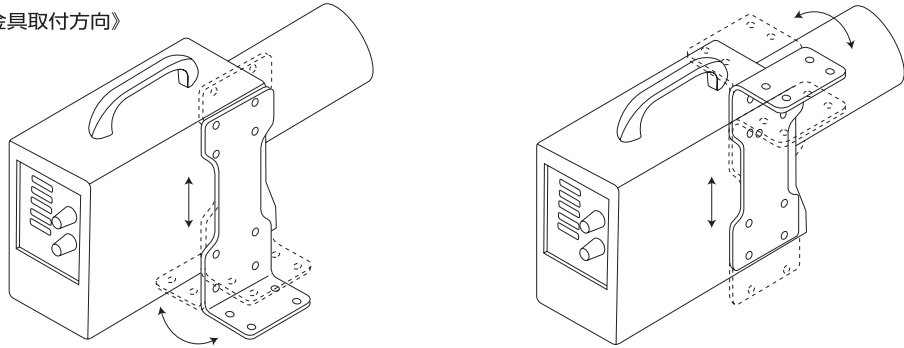
- ◆このたびはポータブルドライヤをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
- ◆本体の銘板シールにて型式、品番、電圧がご注文の製品に相違ないかをご確認ください。
- ◆この取扱説明書は保証書を兼ねております。お読みになったあとは大切に保管してください。
※保証書の提示がない場合、保証期間内であっても無償修理が適用されません。
- ◆ご使用前に銘板シール記載の型式、品番を保証書に必ず転記してください。メンテナンス時に必要です。
- ◆本製品には可能な限り安全回路が組み込んでありますが、これらの動作確認のためにも、定期的に点検依頼を申しつけてください。
- ◆電源には十分な容量を確保した商用電源を使用してください。周波数変換器等は使用しないでください。

 熱風発生機

1. 据え付け

- 1-1 風雨にさらされない乾燥した、風通しのよい場所（屋内）でご使用ください。密閉した箱の中では絶対に使用しないでください。
- 1-2 ガソリン、ガスの近くなど引火の恐れのある場所では絶対に使用しないでください。また、ヒータケースカバーは高温熱風吐出時には熱くなりますので、火傷や可燃物への引火には充分注意してください。
- 1-3 通電性浮遊物（カーボン繊維等）のある場所では絶対に使用しないでください。
- 1-4 周囲温度0℃～+40℃以外の場所、周囲湿度85%R.H.以上（結露・凍結）の場所では使用しないでください。
- 1-5 必要に応じて固定金具でしっかりと固定してください。固定金具は本体側面の固定金具取付穴（M4インサートナット4ヶ所）を利用し、任意の位置に取りつけてください。

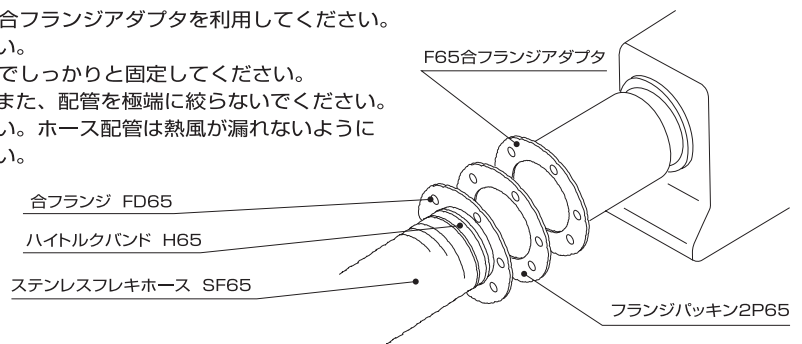
《固定金具取付方向》



- 1-6 幼児が触れる恐れのある場所では絶対に使用しないでください。
- 1-7 本体の設置方向（上向き、下向き、前後左右傾斜）に制限はありませんが、吐出口が水平より下向きの場合は、充分（3分以上）に冷却運転をおこなってから運転を停止してください。また、水平、上向きの場合も1分程度の冷却運転をおこなうことをおすすめします。
- 1-8 パソコン、ラジオ、計測機器等のノイズの影響を受けやすいものの近辺では使用しないでください。
- 1-9 入出力サービス端子を使用する場合は、各配線にノイズ等が乗らないように十分に注意してください。
- 1-10 ホコリ等の多い場所では使用しないでください。
- 1-11 吸入口（フィルタ）はふさがらないでください。また、充分な空間距離を確保してください。

2. 配管

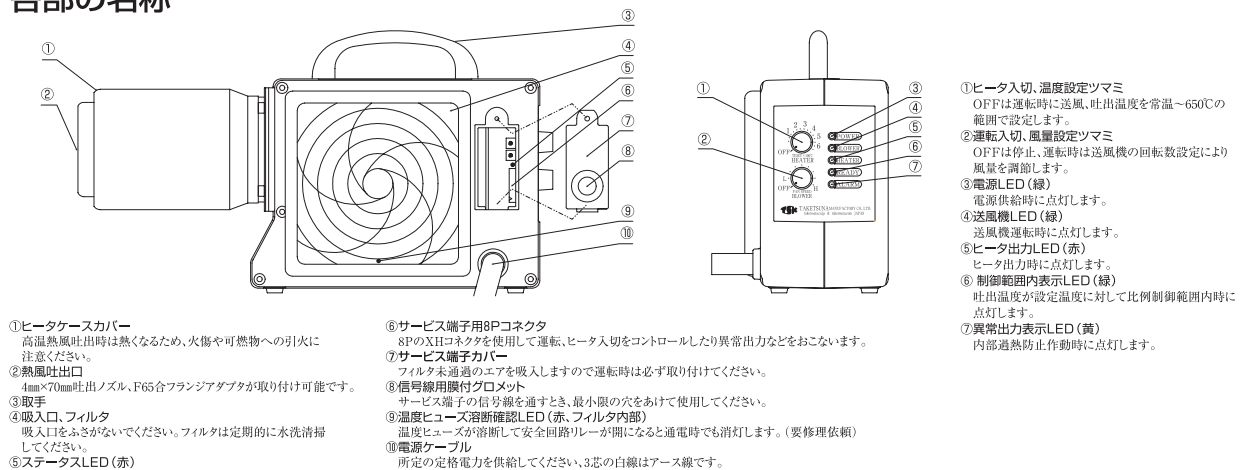
- 2-1 配管をおこなう場合は、必ず専用F65合フランジアダプタを利用してください。熱風吐出口に直接配管しないでください。
- 2-2 専用F65合フランジアダプタはバンドでしっかりと固定してください。
- 2-3 配管はできるだけ短くしてください。また、配管を極端に絞らないでください。
- 2-4 吸入口、吐出口をふさがらないでください。ホース配管は熱風が漏れないようにバンドでしっかりと締めつけてください。



3. 電源

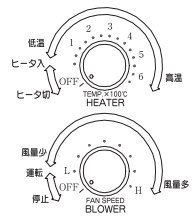
- 3-1 ポータブルドライヤの電源電圧に合った専用電源を用意してください。
- 3-2 100V（120V：海外用）電源の機種は同じコンセントの電源で他の機器と同時に使用しないでください。
- 3-3 延長コードを使用される場合は電圧降下を考慮してください。
- 3-4 200V（230V：海外用）電源の機種は必ずアース工事（300V以下：D種接地）をしてください。
- 3-4 他の機器と連動させて高頻度で電源を入り切りしないでください。
- 3-5 日本国内用（100V・200V電源機種）は海外で使用しないでください。

4. 各部の名称



5. 運転手順

- 5-1 ポータブルドライヤの電源電圧に合った電源が供給され、電源LED（緑）が点灯していることを確認してください。
- 5-2 運転切、風量設定つまみを回して、任意の風量を設定してください。送風機が運転を開始し、送風機LED（緑）が点灯します。
- 5-3 ヒータ切、温度設定つまみを回して、任意の温度を設定してください。熱風運転を開始し、ヒータLED（赤）が点灯します。
- 5-4 吐出口熱風温度が設定温度の15℃の範囲に入ると制御範囲内LED（緑）が点灯します。
- 5-5 運転を停止する場合、吐出口が水平より下向きの場合は、十分に冷却運転（3分以上）をおこなってから運転を停止してください。また、水平、上向きの場合も1分程度の冷却運転をおこなうことをおすすめします。

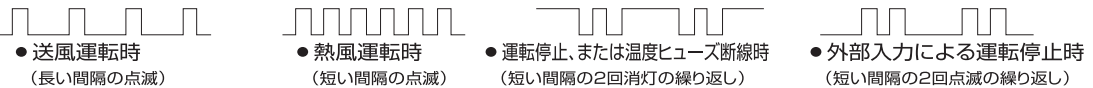


6. 異常検出

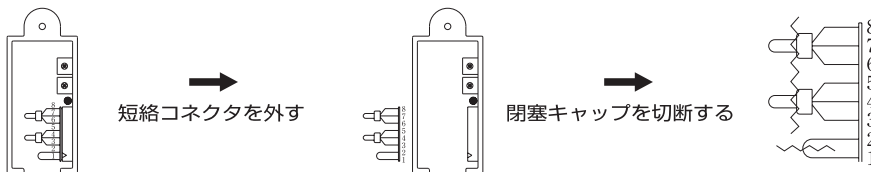
- 6-1 ヒータ内部が異常過熱時、異常出力表示LED（黄色）が点灯し、ヒータがOFF（ヒータLED消灯）となり、ブザーが鳴動します。冷却後、自動復帰します。過熱防止センサが断線時も同様の動作となりますが、自動復帰はしませんので返却修理を申しつけてください。
※コールドスタート時、吐出温度、吐出風量によってヒータ内部が急激に昇温し、上記異常が発生する場合があります。
- 6-2 吐出熱風温度検出センサが断線時、ヒータがOFF（ヒータLED消灯）になります。異常出力表示LED（黄色）は点灯せず、ブザーも鳴動しません。返却修理を申しつけてください。
- 6-3 最終安全回路の温度ヒューズが断線時、電源LED（緑）以外のすべてのLEDが消灯し、運転が停止されます（温度ヒューズ溶断確認LEDが消灯します）。この場合、本体が損傷状態である可能性が高いため、返却修理を申しつけてください。

7. 入出力サービス端子

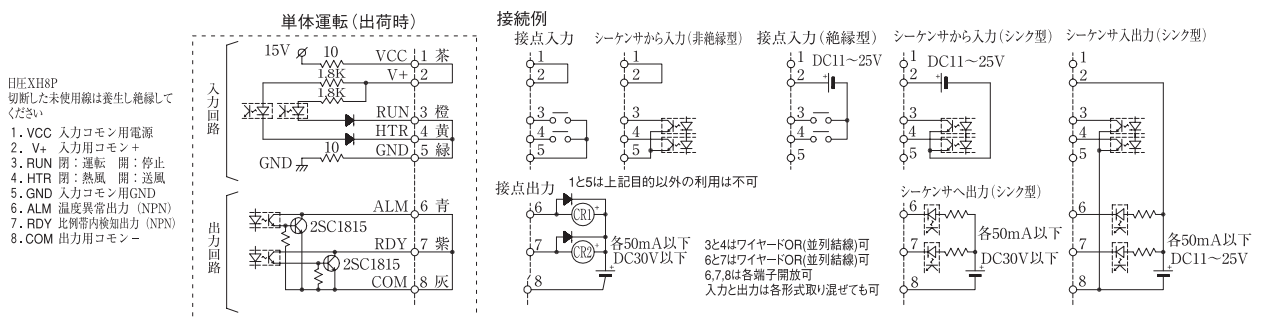
- 7-1 ステータスLED（赤）
点滅状態によって、本体の運転状況を確認できます。



- 7-2 入出力サービス端子を使用される場合は、短絡コネクタを外して閉塞キャップを切断し、短絡コネクタに外部配線後、再度、取りつけて使用してください。

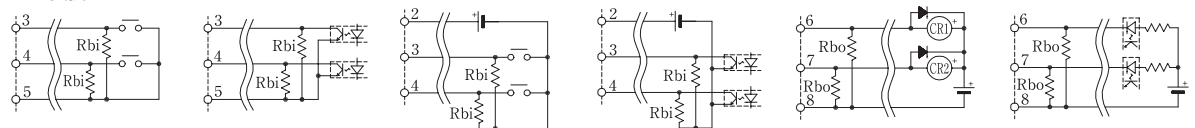


- 7-3 入力、出力信号の種類によって、配線してください。



サービス端子の入力や出力の配線が5m以上になる場合、強ノイズ環境では誤動作防止や回路保護のために回路形式を外部電源を使用した絶縁型とし、さらに下図のようにブリーダ抵抗を設置して低インピーダンス化されることを推奨します。

ブリーダ抵抗について

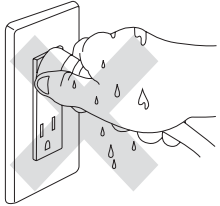


Rbiは100K~470KΩ、Rboは出力トランジスタがOFF時に負荷が動作しない範囲で設定してください
ブリーダ抵抗の設置場所は上図のように入力部には入力回路側の近辺に設置し、出力部にはサービス端子の近辺に設置してください。

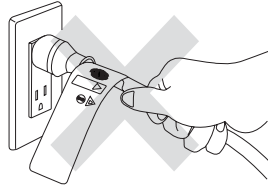
注意

- 比例帯内検出出力7は吐出温度の安定性によってはチャタリングが発生しますのでご注意ください。
- 外部運転入力による運転停止の開閉頻度制限は30秒以上です（ヒータ切は開閉頻度の制限はありません）。
- 出力端子はトランジスタON時に最大1V電圧が降下します。
- 入出力サービス端子を接続する場合は、必ず電源をしゃ断しておこなってください。
- 入出力サービス端子に規格外の電圧をかけた場合、本体が破損します。

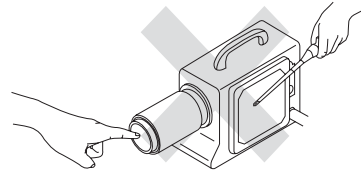
次のようなことは絶対に避けてください。 事故や故障の原因になります。



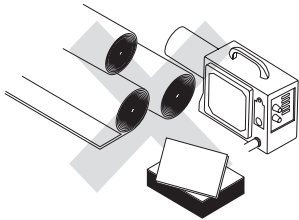
- ぬれた手で操作しないでください。



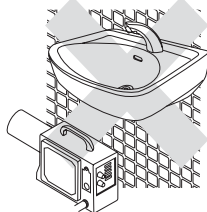
- 電源キャップ(プラグ)をコンセントから抜くときは電源キャップ(プラグ)を持って抜いてください。



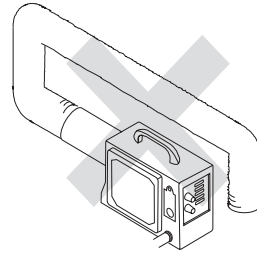
- 機体内部へ絶対に指を入れないでください。吸入口や吐出口から異物を入れることは絶対にやめてください。また、改造は絶対におこなわないでください。



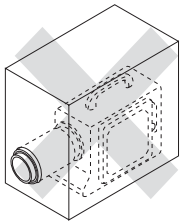
- ご使用時は、紙などの燃えやすいものの付近に放置しないでください。



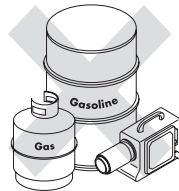
- このような場所でのご使用は漏電事故の原因となり、大変危険です。



- 長い配管、細い配管は風量が減少し、ヒータ内部で異常過熱しますのでご注意ください。長い配管は熱ロスが大きくなり、不経済です。



- 密閉した箱の中では絶対に使用しないでください。また、吸入口や吐出口をふさがないでください。



- ガソリン、ガスの近くなど、引火の恐れのある場所では絶対に使用しないでください。

- 本機への電源投入時、発熱体には触れないでください。感電のおそれがあります。

- カーボン繊維等の通電性浮遊物のある場所では絶対に使用しないでください。

- 事故防止のため、幼児には絶対にふれさせないでください。

tsk 熱風発生機

製造販売元 

タケ ツナ

株式会社 **竹網製作所**

東京支社 〒144-0035 東京都大田区南蒲田2丁目4番4号

☎(03)5710-2001(代) FAX(03)5710-2005

大阪支社 〒577-8566 東大阪市高井田西5丁目4番18号

☎(06)6785-6001(代) FAX(06)6785-6002

ホームページ URL <http://www.taketsuna.co.jp/>